

2025年11月13日
一般財団法人運輸総合研究所

ベトナム文化芸術スポーツ観光研究所（VICAST）と 観光分野の研究活動の連携・協力に関する覚書を締結しました

- 運輸総合研究所は、2025年11月12日にベトナム社会主義共和国・ハノイにおいて、同国の文化・観光分野に関する政府系のシンクタンクであるベトナム文化芸術スポーツ観光研究所(VICAST)と5年間の研究交流等に関する覚書(MOU)を締結し、その署名交換式を開催しました。
- 運輸総合研究所は2023年10月に、持続可能性に配慮した質の高い観光の実現に向けて研究協力を進展・強化するため、当時のベトナム観光開発調査研究所(ITDR)とMOUを締結しましたが、2025年4月にITDRがVICASTに改組されたことを受け、このたび新たにVICASTと本MOUを締結しました。
- 運輸総合研究所とVICASTは、共同して行う研究活動や情報発信等を通じて、持続可能な観光の実現に向けて日本・ベトナム両国の観光分野の発展に資することを目的として、両機関の連携・協力を推進してまいります。

一般財団法人運輸総合研究所（会長：宿利 正史、事務所：東京都港区）は、2025年11月12日（水）にベトナム社会主義共和国のベトナム文化芸術スポーツ観光研究所(VICAST、Vietnam Institute of Culture, Arts, Sports and Tourism)と5年間の観光分野の研究活動の連携・協力に関する覚書を締結しました。

日本とベトナムはともに、観光客を魅了する自然や文化を豊富に有しており、これらを最大限活用して持続可能な観光の実現に向けて取り組むことは、両国に共通する重要な課題です。このため運輸総合研究所は、2023年10月にベトナム観光開発調査研究所(ITDR、Institute for Tourism Development Research)との間で、持続可能性に配慮した質の高い観光の実現に向け、研究協力を進展・強化するための覚書を締結しました。

2025年4月にVICASTがITDRを統合して観光分野を研究領域に加えたことにより、VICASTにおいて文化や芸術の振興と融合した観光分野の発展に向けた取組みが行われ、運輸総合研究所の研究活動との連携・協力の拡大も期待されることから、このたびの覚書の締結に至りました。

観光分野の発展にとって、観光資源の重要な要素となる文化や芸術等の維持・発展は欠かせないものです。今回のMOU締結により、観光振興と緊密に連携しながら、日本とベトナムが世界に誇る文化を維持・継承・発展させ、ともに世界への発信力を強化することを目指して取り組んでまいります。

主なSDGs関連項目



○署名交換式の写真



- (前列左から) 運輸総合研究所 奥田哲也 専務理事 アセアン・インド地域事務所長、
ベトナム文化芸術スポーツ観光研究所 グエン・ティ・トゥ・フォン 所長
(後列左から) 運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所 富田晃弘 主任研究員 次長、
在ベトナム日本国大使館 伊藤直樹 大使、
ベトナム国家観光局 グエン・チュン・カイン 長官、
ベトナム文化芸術スポーツ観光研究所 ホアン・ティ・ビン 氏

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

本件プレスリリースは、国土交通記者会、交通運輸記者会、建設専門紙記者会にお届けしています。

【お問い合わせ】

一般財団法人運輸総合研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19 (UD 神谷町ビル)

TEL : 03-5470-8415 FAX : 03-5470-8401

E-mail : prininfo@jttri.or.jp HP : <https://www.jttri.or.jp/>

担当 : 岡田、明口